

街頭写真から「色に対する気分」を見ることにする。

A: 目立つカラー：身に着けているアイテムの中で彩度の高い色動向

B: 着装カラー：着ている服の色動向

C: アイテム別動向：カラー中心にデータから見た特徴、街頭写真など

A: 目立つカラー (服以外含む)

身に着けているアイテムの中で、彩度の高いカラー **1 色** を目立つカラーとする。

(同彩度は明るい色優先、柄物などはその中で分量が多く目立つ色 - 色相では彩度の高い暖色系優先)

(目立つカラーの設定上、低彩度方向、暗い方向は量的に少なくなる)

概要

日時 2022 年 1 月 26 日 11 度
2021 年 1 月 14 日 13 度
場所 神戸元町 (神戸大丸近く)
対象 20-50 代女性

棒グラフ対応カラー

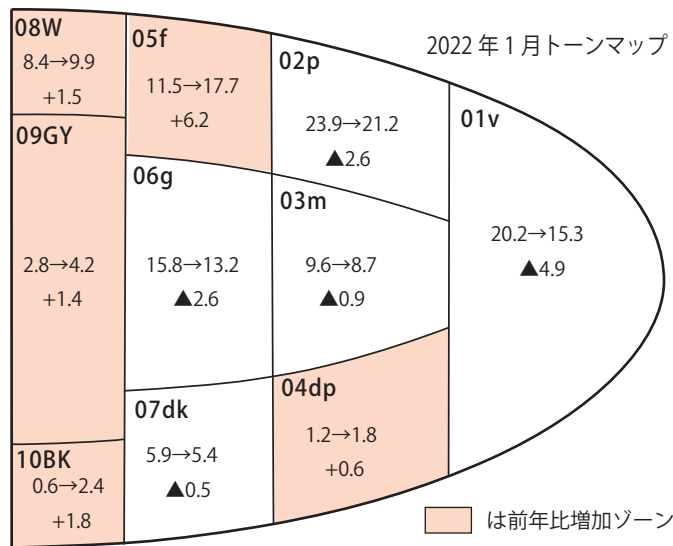
2022 年 1 月 2021 年 1 月 増減

トーンの特徴

かすかな f、ニュートラルがリード

明るく白に近いゾーン、黒中心に増加が集中

鮮やかな v、明るい p 方向から、灰み g まで幅広く減少

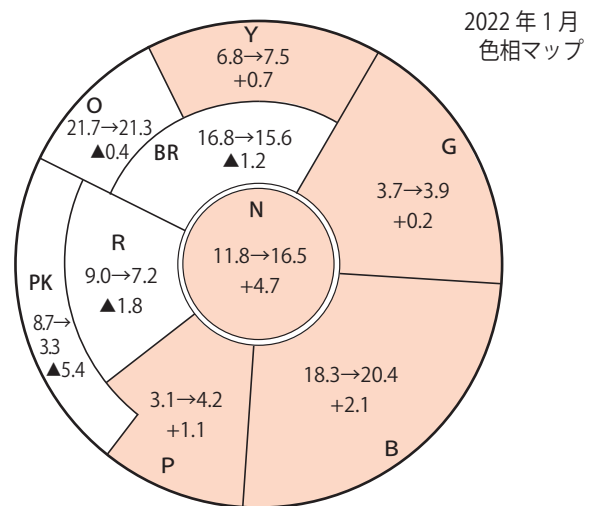


色相の特徴

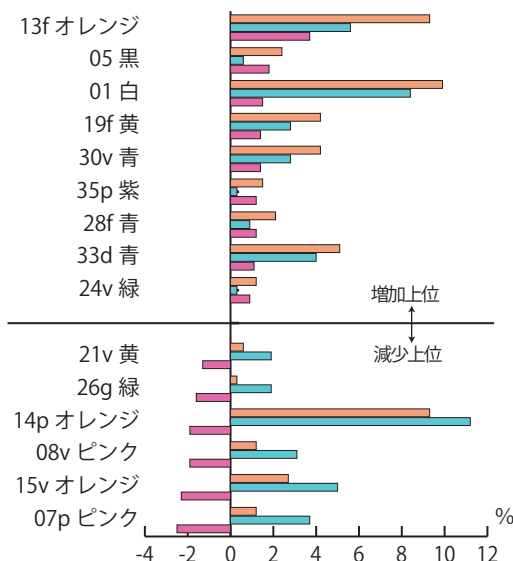
ニュートラル中心に、ブルー、パープルがリード

暖色系中心に減少が集中している

減少は、ピンクが目立ち、レッド、ブラウンと続く

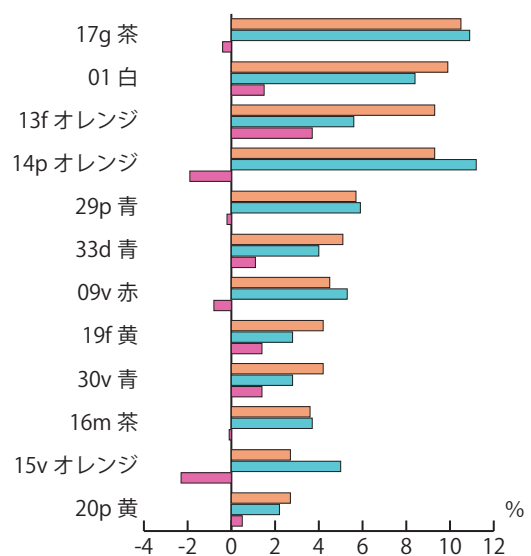


詳細な目立つカラー増減 順位 (上位)



量的に多く、減少の少ないオレンジ (右上参照) だが、
p から f に大きく変化している
f 周辺では、01 白、f 黄、f 青が続く
減少では、ピンク、オレンジの色み方向が目立っている

詳細な目立つカラー量 順位 (上位)



量的には、g 茶、白がリード
オレンジ系、青系が続く
v 赤はマフラーのチェック柄に多い

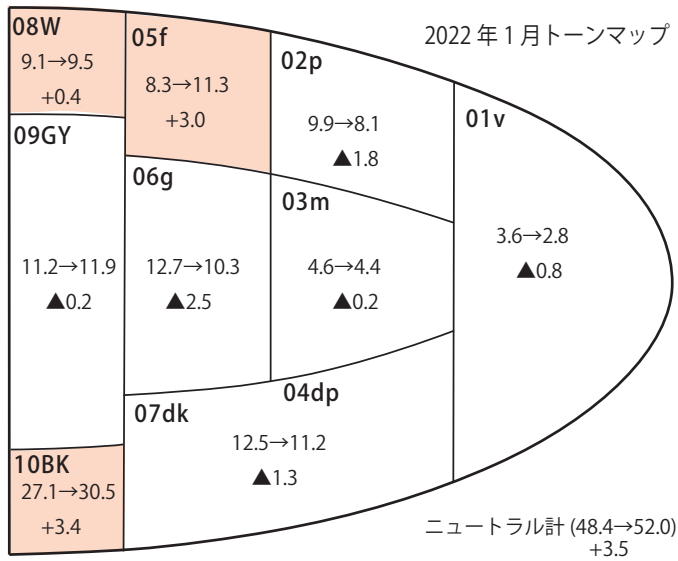
トーンの特徴

目立つカラーとほとんど同じ傾向

黒が目立つシーズンで、かすかなfが続く

灰み方向も減少で、無彩色にシフトしている

減少は、高彩度、中彩度に幅広く、ダークまで広がっている



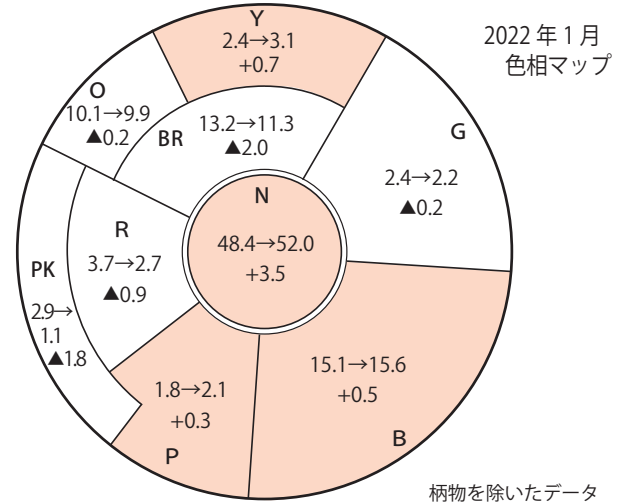
色相の特徴

色相も目立つカラーとほとんど同じ傾向

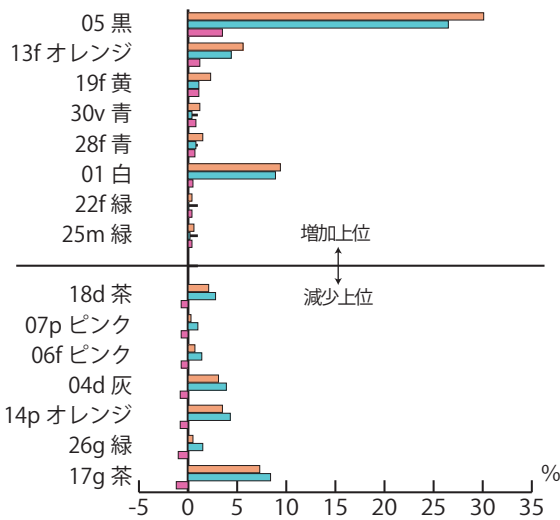
ニュートラル系のみ目立って増加

暖色系が幅広く減少も、増加は寒色系、中性色に多いが、目立った増加ではなく、幅広く分布している

ブルー、パープル、イエローは目立つカラーと同じ

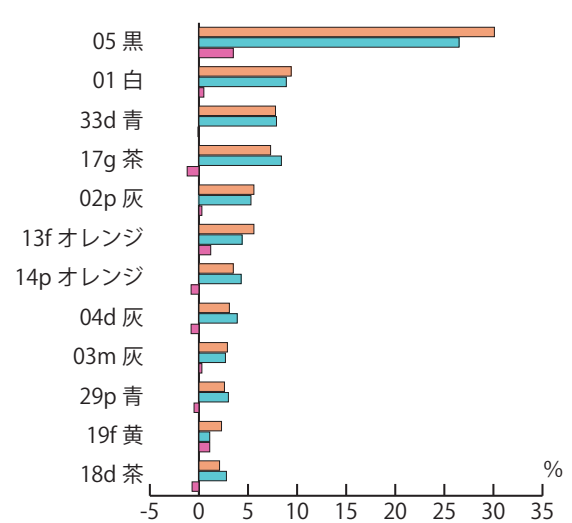


詳細な着装カラー増減 順位（上位）



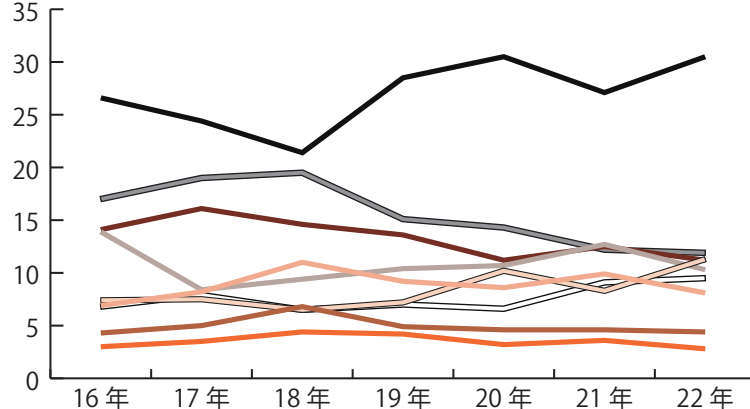
f オレンジ、f 黄は白に近く、白の代用とも言える
f 青、f 緑も続く
g の茶、緑 p のオレンジ、ピンクが減少している

詳細な着装カラー量 順位（上位）



黒は増加、量 共に目立つ
使いやすい白、d 青、g 茶、灰全般が続く

9トーン別着装カラー推移(2016年～2022年)



- 01v 鮮やかな
- 02p 淡い
- 03m にぶい
- 05f かすかな
- 06g 灰み
- 07dk(04dp) 暗い
- W 白
- GY 灰
- BK 黒

量的に多い黒は19年より、白は21年より上昇
増加傾向のトーンは
・BK 黒
・f かすかな
・W 白が続く
減少傾向は
・v 鮮やかな
・p 淡い
・g 灰み
・GY 灰

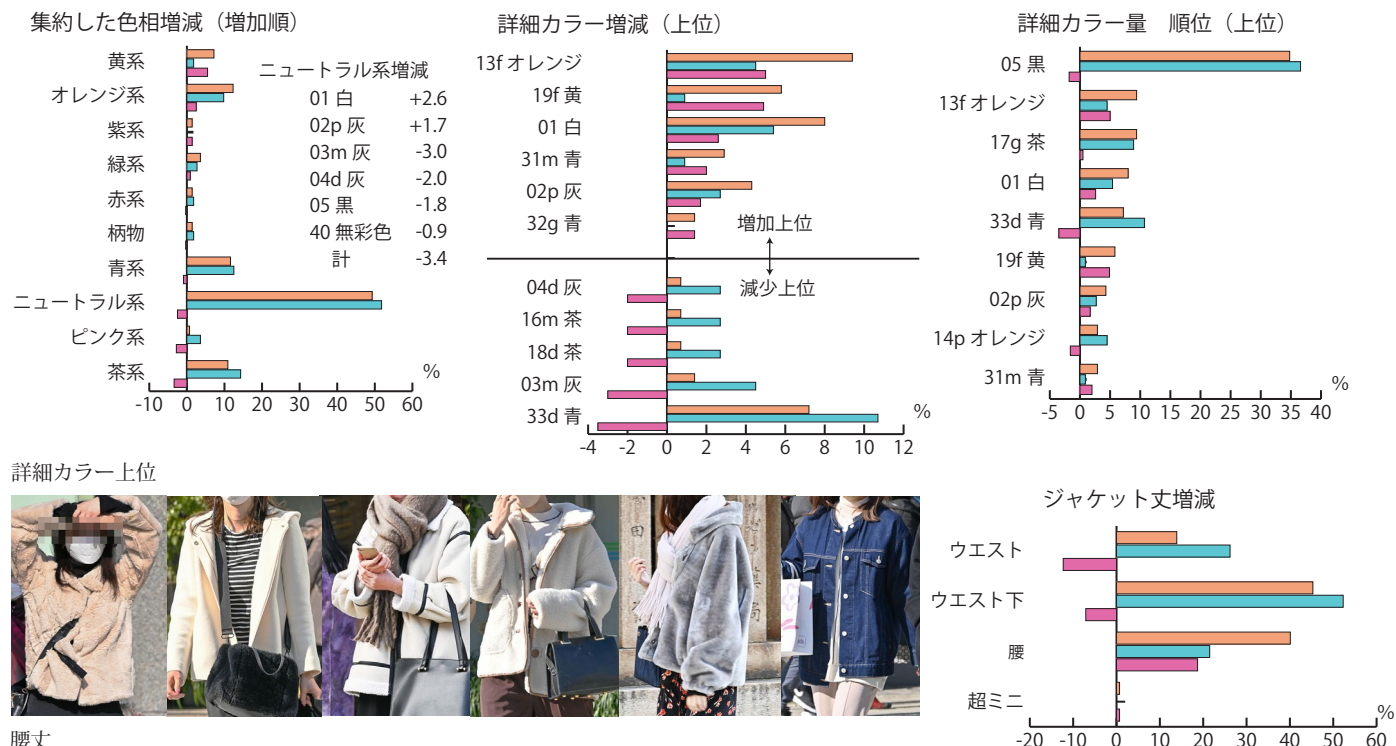
概略、BKとGYのグラフは増加、減少が反対傾向
(BKとGYの平均値は20-21%で安定)

C: アイテム別動向: カラー中心にデータから見た特徴、街頭写真 (カラーナンバー 40 番からは柄物)

アイテムの増加を見ると、コートよりジャケット、パンツよりスカートが伸びている。

寒さが続く関係で、ニット、カットソー、ドレスなどアウターとして着ることが前年に比べ少ない。したがって、ニット (セーター、カーディガン) などは、データグラフで推移をみることにする。

ジャケット 詳細カラーで見ると、白周辺のオレンジ、黄と白が急増。反対に、ダーク青、茶系が減少 量的には、黒人気が続いている ジャケット丈は、長くなっている



腰丈



ダウン、中綿



有毛 ポア シャギー調



ムートン



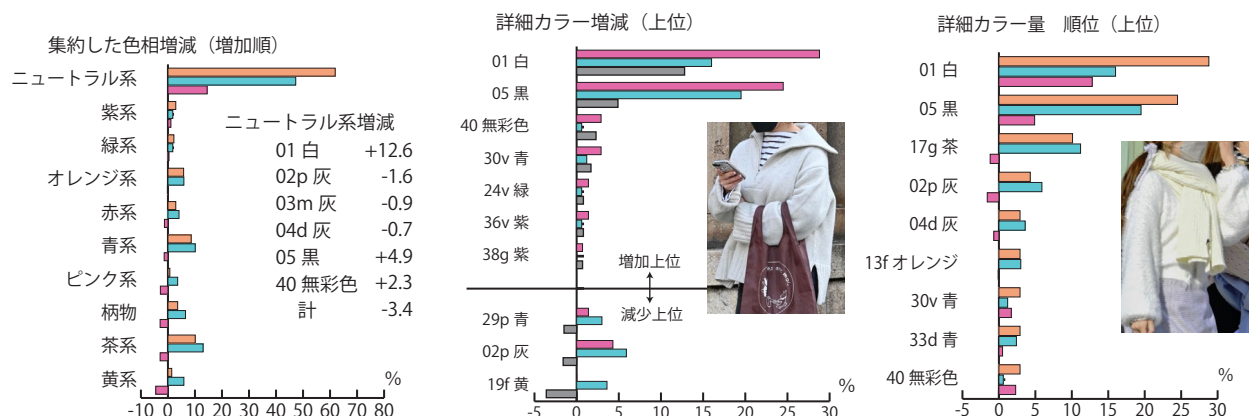
ボリューム感



目立った袖



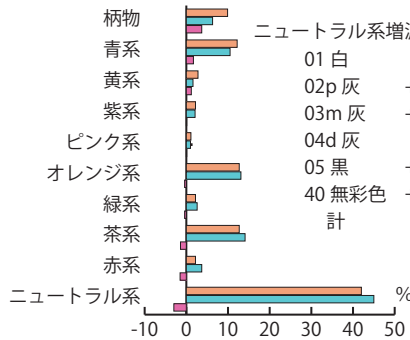
セーター、カーディガン 色では、ニュートラル系が急増、特に、白が多く、黒が続く 量的には、白人気が黒を上回る



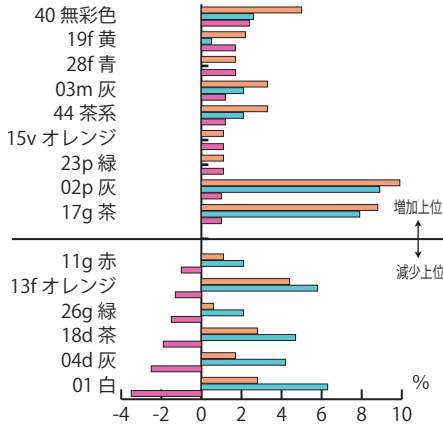
コート

色では、柄物、青系、黄系がリード 詳細カラーで見ると、無彩色、かすかな青、黄となっている
黒は量的に安定 スカート丈はひざ丈、7分丈が伸びる

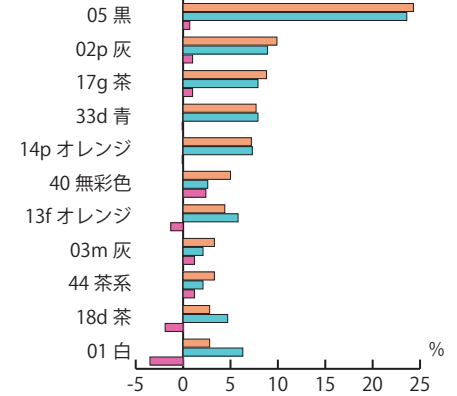
集約した色相増減（増加順）



詳細カラー増減（上位）



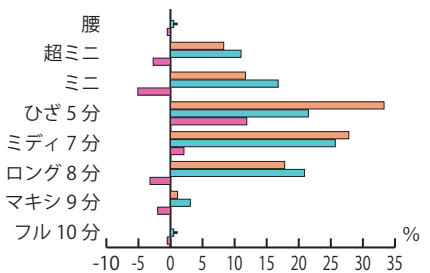
詳細カラー量 順位（上位）



詳細カラー上位



コート丈増減



ひざ丈



チェック柄



ボリューム袖



ダウン、中綿



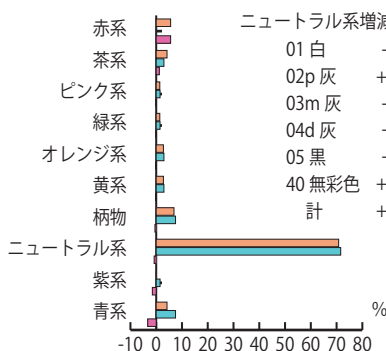
ライン縁取り



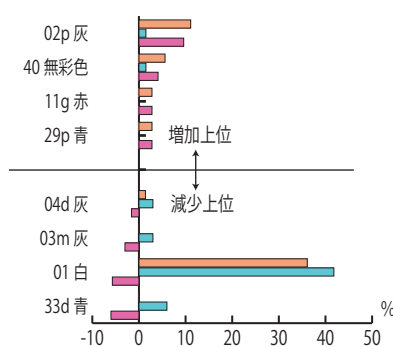
カットソー

色では、赤系、茶系が増加 詳細カラーでは、p 灰が急増で目立つ
量的には、白が多いが、白の減少分、p 灰が増加する

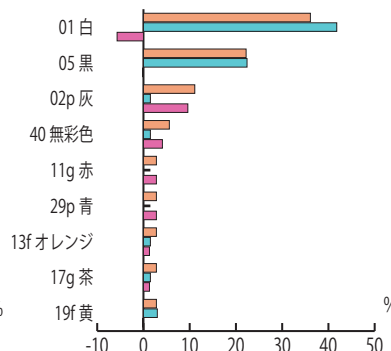
集約した色相増減（増加順）



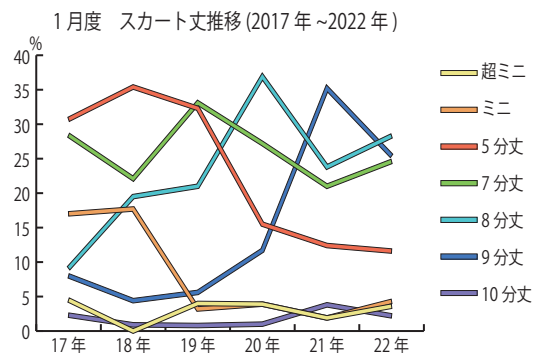
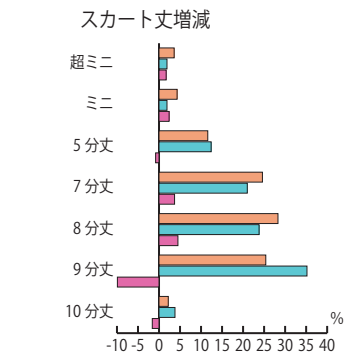
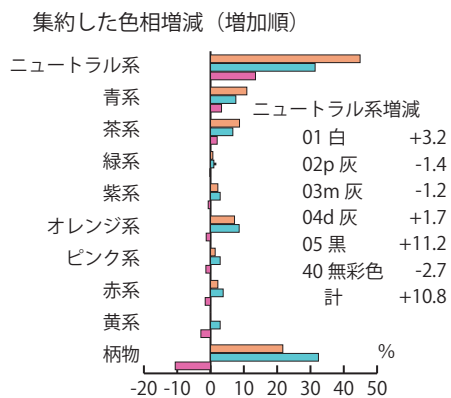
詳細カラー増減（上位）



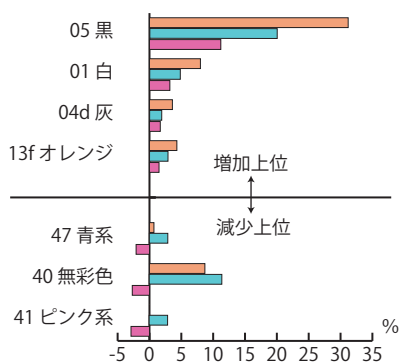
詳細カラー量 順位（上位）



スカート 色では、ニュートラル系が急増、内訳を見ると、黒が多く、白が続く
 スカート丈では、長い方向が多かった前年と比べ、9分丈以上の長さは減少になっている



詳細カラー増減 (上位)



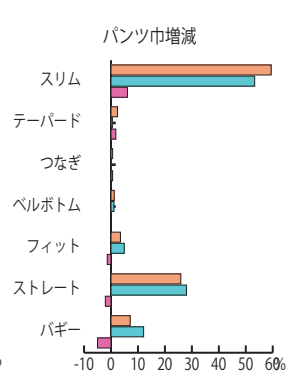
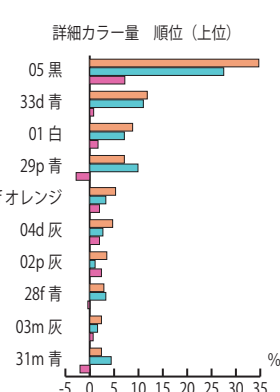
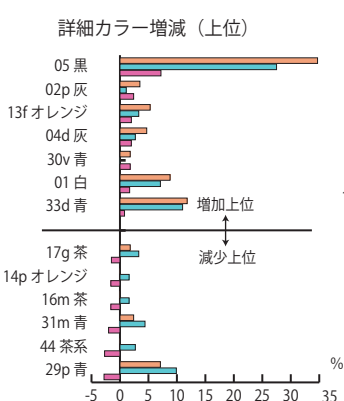
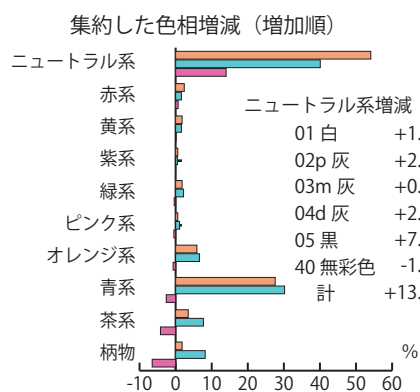
7、8分丈



中花柄



パンツ 色では、ニュートラル系が急増、減少は柄物 (チェック柄減少による)
 詳細カラーで見ると、黒中心に、灰、白も増加 パンツ巾はスリム方向にシフトしている



詳細カラー上位 (量の多い黒省略)



織物以外



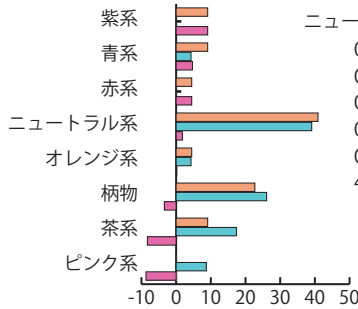
パンツ巾 スリム



ドレス

色では、紫系が増加、詳細カラーでは灰が増加
柄では、小花 ドレス丈は、ひざ丈と9分丈が増加

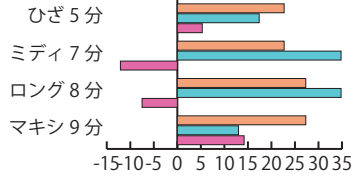
集約した色相増減（増加順）



ニュートラル系増減

01 白	-8.3
02p 灰	+4.5
03m 灰	+4.5
04d 灰	+4.7
05 黒	-3.8
40 無彩色	+0.8
計	+2.6

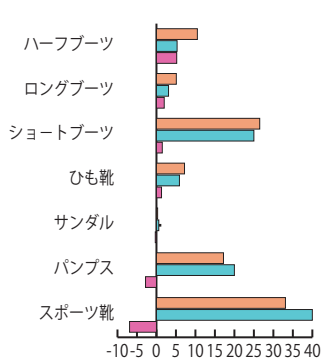
ドレス丈増減



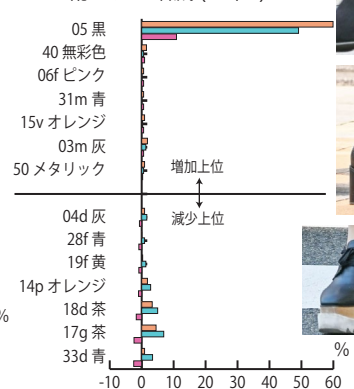
靴

靴タイプでは、スポーツ靴にかわり、ブーツタイプが増加
色では、黒人気 d 青、茶系が減少
(ハーフ、ロングは見えない部分もあり参考値)

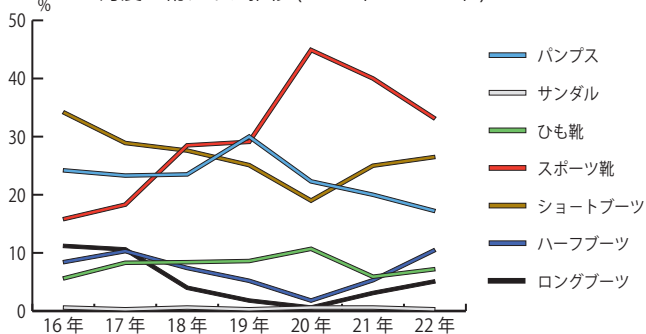
靴タイプ増減



靴カラー増減（上位）



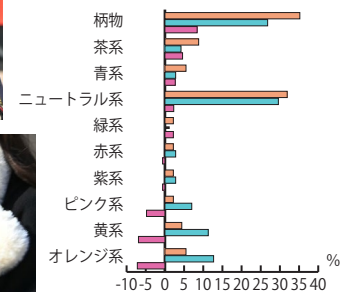
1 月度 靴タイプ推移 (2016 年～2022 年)



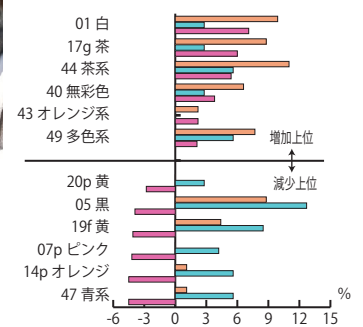
首巻き

増加アイテム
色では、柄物、茶系がリード
詳細カラーでは、白、g 茶が伸びる
目立つカラーではチェック柄の鮮やかな赤が多い

集約した色相増減（増加順）

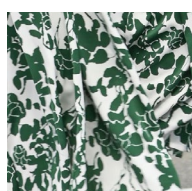
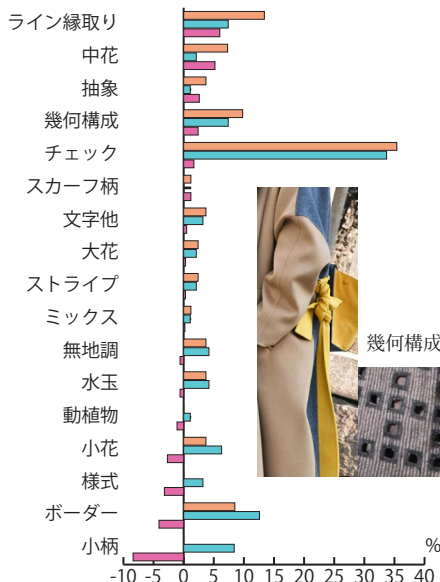


詳細カラー増減（上位）



柄

ライン縁取り、中花がリード
反対に、小柄、小花、ボーダーが減少



アイテムで見ると、

- ・スカートでは、小柄から中花、幾何構成に移行 チェックも伸びる
- ・ジャケットでは、ライン縁取りが多く、チェックが続く
- ・コートでは、チェック人気 (パンツは反対に大きく減少)
- ・見えてる部分で見ると、ドレスは小花、カットソーはボーダー ニットは無地調、抽象が伸び、ボーダーなど減少

アイテム別 柄タイプ増減 (1.3～-1.3は省略)

	コート	ジャケット	カットソー	ドレス	スカート	ニット	パンツ	計
ライン縁取り	1.6	7.5						6.0
中花					7.0			5.2
抽象						2.4		2.6
幾何構成					5.0			2.4
チェック	8.7	1.4			3.6	-2.1	-10.2	1.7
ストライプ						-2.1		0.3
無地調						2.4		-0.6
水玉					-1.8			-0.6
小花				1.4	-4.0			-2.7
様式					-2.1			-3.2
ボーダー			1.9			-4.0		-4.1
小柄					-8.4			-8.4
計	11.0	5.7	1.3	-1.3	-1.8	-5.1	-11.1	